

### ■F-15DJ戦闘機の採用

航空自衛隊は1981年よりF-15J戦闘機を装備するが、パイロット単独で操縦する本機は、従来よりも高性能で複雑な地上操作を習熟する必要があった。高度なシミュレーター機器がなかった当時においては教官が同乗し教育すべく同機の複座型が必要との運用要求から、F-15DJの同時採用が決まる。

1980年代に入り、旧式化した主力戦闘機F-104J/DJの代替更新となったF-15J/DJだが、F-104の複座型F-104DJが操縦/機動練習機としてレーダーを含む火器管制装置を搭載しなかったのに対し、F-15DJはこれらを装備しJ型と同等の戦闘力を有していた。これはベースとなる米空軍仕様様の複座型F-15Dに火器管制装置を除いたタイプのオプションがなかったため、航空自衛隊の調達でわざわざ機材を取り下ろす手間と経費などの不合理があったかと思われる。一線機であるF-15Jの調達数は更新対象のF-104Jより減るのだが、F-15DJを戦闘機の定数に含むことで数の上での戦力は維持される。

### ■F-15DJの生産

当初より航空自衛隊では、F-15Jのパイロット養成を米軍に依存することは経費の増大や養成期間の長期化を懸念していたため、早期のF-15DJ調達を試みた。F-15Jは3号機からノックダウン生産が開始し、三菱重工を中心とする国内生産体制確立を優先としたことや、当時のアメリカ合衆国とのライセンス契約がF-15Jに限定されていたことから、F-15DJはマクダネル・ダグラス社から完成機を輸入することとなる。F-15DJの1号機となった051号機を1981年4月に受領したのを皮切りに1983年までに10機を受領し、輸入完成機の最終となる061号機および062号機を1985年に受領した。その後は三菱重工が国内でライセンス生産を担う。

アメリカ合衆国からの輸入完成機は、一旦米空軍が受領し確認の上で発注元である日本へと引き渡されるため、完成時の塗装は米空軍仕様となった。当初はフェリー（機体の自力空輸）時に日の丸を描き加えられたが、機体登録番号は米軍表記のまま新田原基地に到着。後期になるとアメリカの国籍表示と機体登録番号のまま新田原基地に到着した。

1988年からF-15DJの国内生産機の納入が開始されるが、国内生産1号機となった063号機からはF-15JのJ-MSIP仕様様の生産と併せD型もJ-MSIP仕様へと移行している。1998年にF-15J最終号機の965号機が航空自衛隊に納入されたことから、翌年納入されたF-15DJ(48機目)098号機はF-15国内生産の最終号機ともなった。

### ■F-15DJの部隊運用

F-15DJは臨時F-15飛行隊での編成を経て、1982年より第202飛行隊においてF-104からF-15へ機種転換するパイロットの養成に特化し運用された。その後、戦闘機

操縦課程にて使われてきたT-2高等練習機は耐用年数経過による用途廃止が進み、さらに2000年には教育課程が変更されたことで、F-15戦闘機を飛行教育集団所属の訓練機として用いる第23教育飛行隊が新田原基地(宮崎県)で発足した。

同隊ではF-15DJのほかF-15Jも使用して飛行訓練を実施している。現在では、第1航空団(浜松基地)でパイロットの証となるウィングマークを取得した航空学生は、本人の希望および教官の評価により第21飛行隊(松島基地)においてF-2Bによる飛行訓練を受けるか、第23飛行隊においてF-15での飛行訓練を受けるかに分かれる。F-15の飛行訓練を受ける航空学生は、暴力的なエンジンパワーとスロットルレバーのスイッチの多さで最初は飛行技能の錬成に苦労するそうである。

電子戦装置の有無以外はF-15Jと相違がないため、戦闘部隊では空対空戦闘を競技対象とする戦技競技隊に所属するF-15DJを投入する飛行隊もあった。ただ競技ではパイロット1名の搭乗が規定されることが多く、後席は空席で競技に臨むのが通例であった。

### ■F-15DJでの飛行

以下はF-15DJによる飛行訓練を体験したパイロットではない隊員の搭乗体験を参考に、F-15DJの飛行を記載した。

F-15は地上滑走時に速度が感じにくく速度超過しやすいため、パイロットはINS(慣性航法装置)の表示速度(Ground speed)を監視しながら地上滑走すること。これはコックピットの地上高が他の航空機に比べ高いことに起因し、速度超過でカーブに入り誘導路からの逸脱については脚の破損につながるなど事故を避けるのが目的である。

現在はエンジンの信頼性向上や脚への負荷を懸念して省略されているが、以前は離陸前のエンジンチェックで必ずミニマム・アフターバーナー位置までスロットルを進めて点火を確認していた。この際にノズルが最小絞リ位置から開いていく過程も必ず確認をした。左右を同時に確認しようとするエンジンパワーが勝りフットブレーキをしっかりと踏んでいても機体が前進するため、この確認はスロットルを左右個別に操作しておこなう。戦闘機機は自動車のようなパーキングブレーキ機構はないので、パイロットの脚力のみでブレーキを保持する。

離陸時はスロットルをミリタリー位置に進め、問題がなければマキシマム・アフターバーナー位置に進めて固定する。加速はかなり強烈で、射出座席に押しつけられ20秒ほどで離陸する。急上昇の角度は目的とする高度や距離で変わってくるが、上昇角度は40°~45°となるが、搭乗時には垂直であるかとも感じ(航空祭では60°くらいまで上昇ピッチ角を上げることがある)、上昇時に雲の層を通過する際は薄い紙を突き通すような爽快感がある。しかし、この爽快感に反する気圧変化が身体を襲い鼓膜が外側に膨らむため、

4~5秒ごとにバルサルバ(耳抜き)をおこなう必要がある(慣れているパイロットには必要ない)。

戦闘機のエンジンは、地上での運転時でさえ家庭の水道蛇口を全開にした以上の燃料を消費する。アフターバーナー点火時にはこの3倍ぐらいの燃料を1基のエンジンで使用、F-15が有する2基のエンジンでは、さらにこの倍の燃料消費となる。低高度でのアフターバーナー点火時の燃料消費量は、毎分1,000ポンド(450kg)ほどになる。

急上昇の後に水平飛行へと移ると離陸後チェックリストを確認し、訓練空域に入域するまでにウォーミングアップのため機動により約4Gをかけ、問題がなければ7Gまでの対Gチェックを実施する。ここで体調に疑問を感じる場合はGスーツや酸素マスクの装置異常も疑われるため、これらは重要な確認事項となる。GがかかるとGスーツの中に空気が送られ、下肢を締め付け血流が上半身に留まる。Gスーツの締め付けは血圧計のそれが高範囲に至るものと酷似するかもしれない。

対戦闘機戦闘訓練では、日中の場合は空中戦がおこなわれ、夜間では地上の兵器管制官が誘導する戦闘訓練になる。日中の訓練では接近戦となるため高Gの連続となる。一般人では4Gを超えたところで視野が狭くなるが、訓練されたパイロットは視野が狭くなるのは7G以降で、8Gを超えると色が白黒になるとのこと(パイロットの個人差もある)。高Gでは胸が押しつけられ肺が潰れるため、呼吸法も習得が必要がある。体重の何倍もの荷重がかかる高G下では、腕には常に子供がぶら下がっている感じと云えばいいだろうか…この状況下で戦闘を続けるパイロットの過酷さは想像を絶する。普通の人間では立ちあがみ1分から2分続くような感じだと思ってもらえれば良いとのこと。

F-15の場合、いざ接近戦となるとインテイクの上面や主翼正面から出来る気流の乱れにより垂直尾翼が振動することで、コックピットでも比較的大きな振動を感じる。このため垂直尾翼上端におけるビスの脱落や表面の亀裂などが発生しやすい。同様の理由でエンジンのアイリスカバー(噴射ノズルのカバー)が脱落したことから、現在ではカバーなしのまま運用されている。例えばF-16戦闘機では高Gとなっても振動も少なく一気に加重が架かることを比較すれば、F-15だけがアイリスカバーを外し運用する理由が理解できる。

### ■F-15DJの今後

DJ型のJ-MSIP機はF-15J戦闘機の近代化改修と同様の改修がおこなわれてきた。当然ながら改修は前席が中心で後席にはほぼ変化はない。今後ボーイングが実施する改修ではF-15DJ戦闘機は対象外となるため、当面の間、大きな変化は無いと考えられる。

# F-15DJ

## パーツリスト

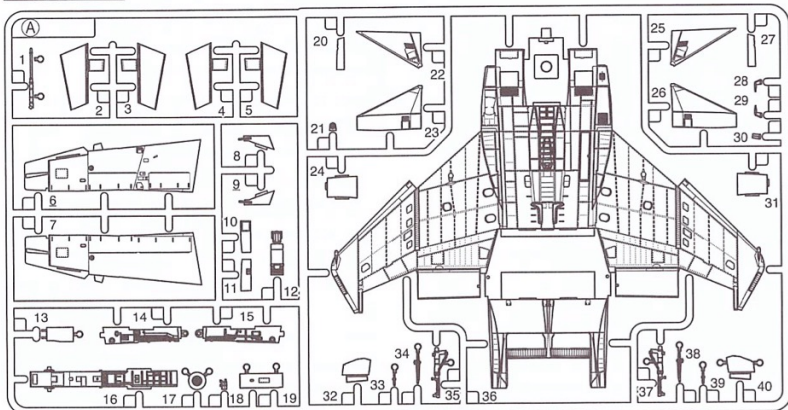
パーツを切り離す前に下の図と各ランナーを見比べ、パーツの不足や破損がないかを確認してください。

Check the contents missing or/and defective shape with reference to the parts drawing shown below.

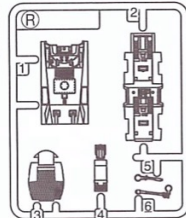
部のパーツは使用しません。

Parts not for use.  
Nicht verwenden  
Non utilisées

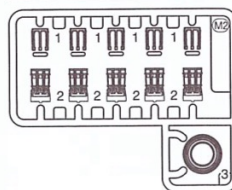
### A ランナー Tree



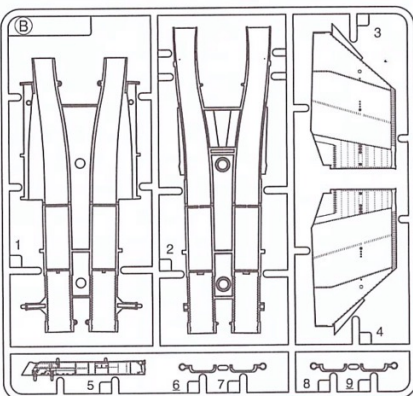
### R ランナー Tree



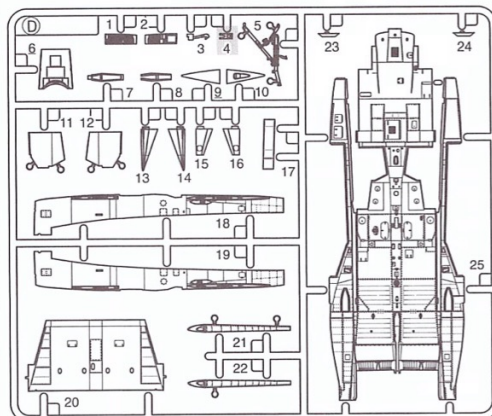
### M2 ランナー Tree x2



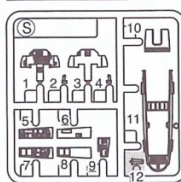
### B ランナー Tree



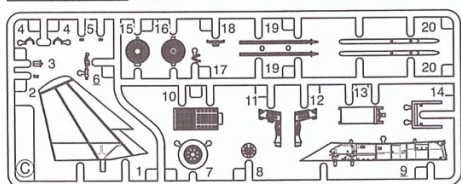
### D ランナー Tree



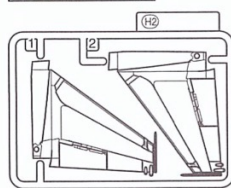
### S ランナー Tree



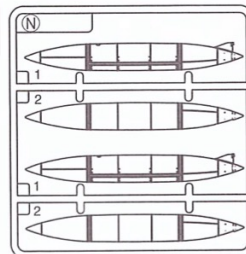
### C ランナー Tree x2



### H2 ランナー Tree



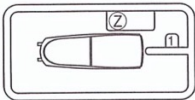
### N ランナー Tree x2



### Y ランナー Tree



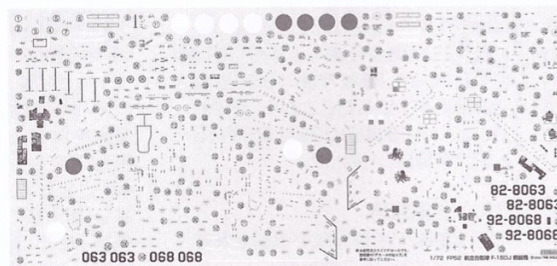
### Z ランナー Tree



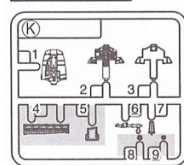
### F2 ランナー Tree



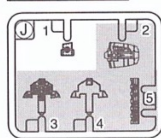
### デカール Decal



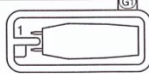
### K ランナー Tree



### J ランナー Tree



### G1 ランナー Tree



※製造には万全の注意を払っておりますが、万が一製造上の不良部品が内包した際はご購入月日とご購入店様名をお書き添えの上、不良箇所を撮影した画像を電子メールで、または不良部品のみを郵送にて当社へお送りください(製品全てをお送り頂く必要はございません)。代替部品と送料分の切手をお送りします。〒441-3301 愛知県豊橋市老津町的場53-2 (有)ファインモールド

## 作る前にお読みください

- この製品は組み立てモデルです。あらかじめ本説明書の全工程に目を通し、組立工程ごとにイラストを見ながら部品の取り付け位置を事前に確認して組み立て作業を進めてください。
- 本製品には接着剤と塗料は付属していません。プラスチックモデル専用の接着剤と塗料を別途お買い求めください。
- カッターナイフや模型用ニッパー、ピンセット、ピンバイス(ドリル刃0.6mm、1.2mm.)をご用意ください。
- 各部の塗装はGSIクレオス・Mr.カラーの番号を□内の数字で、続けて色名を表示しています。水性ホビーカラーやアクリジョン、タミヤカラーやガイアカラーを使用する場合は、「カラーナンバ対応表」を参照ください。

This is an unassembled model kit. Read carefully and fully understand the instructions before commencing assembly. Check the position of the installation before installing parts following the illustration. Cement and paints are not included in the kit. Side cutters, modeling knife, and tweezers, and pin vise with 0.6mm, 1.2mm bits, are also required for assembly. Please carefully use tweezers for the installation of small parts. The boxed numbers in each illustration refer to the number of "Mr.COLOR" from GSI Creos. Please also check the color reference.

## ⚠ 注意 ちゅうい

本製品は玩具ではありません。対象年齢15歳以上の組み立てモデルです。作る前にこの組立説明書をよくお読みください。

1. 部品を取り出した後のビニール袋は放置しないでください。子供が頭から被ったり飲み込むと窒息の恐れがあります。
2. 部品はきれいに切り取り、切り取った後の不要部分や切り取りクズは部品の入っていたビニール袋と共に「プラスチックごみ」として、お住まいの地域のルールに従って処分してください。
3. 尖っている部品があります。お子様の手の届く所に放置しないでください。他の用途には絶対に使わないでください。
4. 特に小さいお子様のいる家庭では部品や部品切り取り後の不要部、ビニール袋等を誤って飲み込まない様に注意してください。小さなお子さまが側にいる、もしくは出入りの環境での作業や放置はおやめください。
5. 組み立ての際、ニッパー・ナイフ等を不用意に取り扱うと刃先で怪我をする恐れがあります。注意してください。
6. 接着剤、塗料を使用する場合は下記に注意してください。
  - 中毒の恐れがあるので閉めきった室内では使用しない。
  - 引火の恐れがあるので火の近くで使用しない。
  - 接着剤・塗料は目や口に入れない。誤って入れたときはすぐに大量の水で洗い流し医師に相談すること。
7. 工具・接着剤・塗料等を使用する前には、それぞれの説明書に記載の注意事項をよく読み、正しく使用してください。

## ⚠ CAUTION MAKE SURE TO READ THE INSTRUCTIONS BEFORE ASSEMBLING.

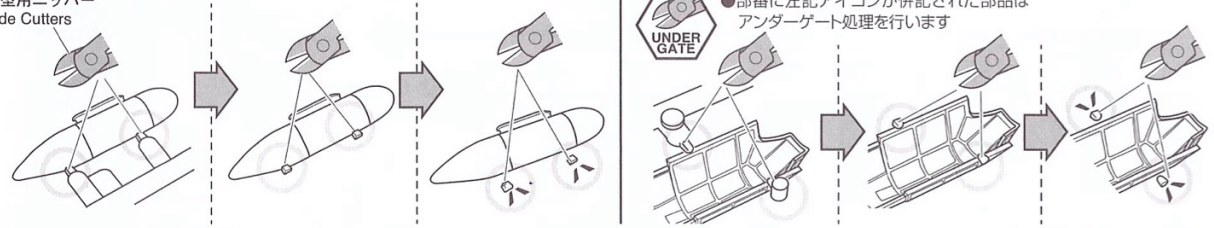
THIS IS NOT A TOY! This model kit is suitable for age 10 to adult. When assembled by children aged 14 or younger, it is recommended that an adult, who has read the instructions, supervise the process.

1. This is an unassembled kit. Read the instructions before assembling. 2. Tear up and discard the plastic bags containing kit parts as children may accidentally hurt themselves by swallowing or suffocate by putting the bags over their head. 3. After preparing the parts by cutting, please dispose of the waste properly. 4. Don't play with the parts because some parts have sharp points. Exercise caution and care when assembled with infants in nearby vicinity. 5. Keep all parts out of reach of small children. Children must not be allowed to put any parts in their mouth, or pull plastic bags over their head (risk of suffocation). 6. Assembly involves the use of tools including knives. Extra care should be taken to avoid personal injury. 7. Take the following precautions when using adhesives and / or paints: Don't use in a closed room to avoid poisoning / intoxication. Don't use near fire (risk of flammability). Avoid contact with either your eyes or mouth. In case of accidental contact, rinse with large amounts of water and consult a doctor. 8. Read and follow the instructions supplied for the tools, the cement and the paints when used for assembly.

## ■パーツの切り取り方 To remove parts from tree

※ランナー(枠)から各パーツを切り離した際に突起が残った時は、カッターや模型用ヤスリ等で取り除いてください。

模型用ニッパー  
Side Cutters

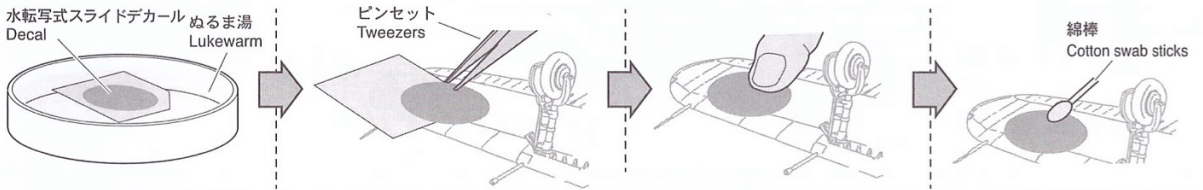


## ■水転写式スライドデカールの貼り方 Decal Application



1. 1回に必要なマークのみを台紙と共にハサミで切り抜きます。
2. 切り出したマークを10秒から20秒程度ぬるま湯に浸してから引き上げます。
3. 貼りたい位置にマークを台紙ごと移動し、マークをずらしてモデルに移します。
4. 濡らした指などでずらしながら正しい位置に動かします。
5. 位置が決まったら、柔らかい布や綿棒などで気泡と水分を押し出すようにマークを固定します。(力を入れすぎるとマーク全体が移動するので注意)
6. 曲面や凹凸部にマークを密着させる際は、GSIクレオス製 Mr. マークソフターを使用し、綿棒などで慎重に作業します。貼ったマークは乾いて固着するまで触れないでください。(マークソフター本体の取扱説明も参照ください)

1. Cut off each decal mark from the sheet.
2. Dip the mark into lukewarm water for about 15 seconds.
3. Place the mark in position, and slide it off the base paper and onto the model.
4. Move decal into position by wetting the decal with finger.
5. To push out excess water and air bubbles under mark, Press the decal gently with a soft cloth or cotton swab sticks.
6. Use a hot steaming towel or decal softener to mold decal over sculpted or nonflat surface.
7. Do not touch the decal until it has become dry and firmly attached to model.

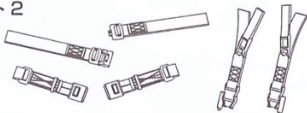


## ディテールアップ パーツ(別売り)

※価格は販売店様へお問い合わせください

DETAIL-UP PARTS  
NOT INCLUDED,  
SOLD SEPARATELY

現用機用シートベルト 2  
(F-15-F16)  
(プラスチックパーツ)  
製品番号 : NAB



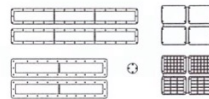
Modern Aircraft Seatbelt Set #2 for F-15, F-16 Series (Plastic parts)  
ITEM No. NAB



別売りのディテールアップパーツを取り付ける場合は、組立途中に左記マークのある段階でおこないます。取り扱い方法の詳細はディテールアップパーツ製品に封入された組立説明書を参照してください。

Install Detail-Up Parts at the step indicated the left mark if you would like to do.

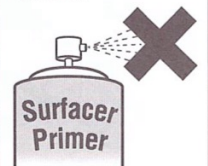
フォーメーションライトセット  
(F-15用)  
(プラスチックパーツ)  
製品番号 : NA16



Formation light and Chaff / Flare dispensers for F-15 jet fighter  
(Plastic parts)  
ITEM No. NA16

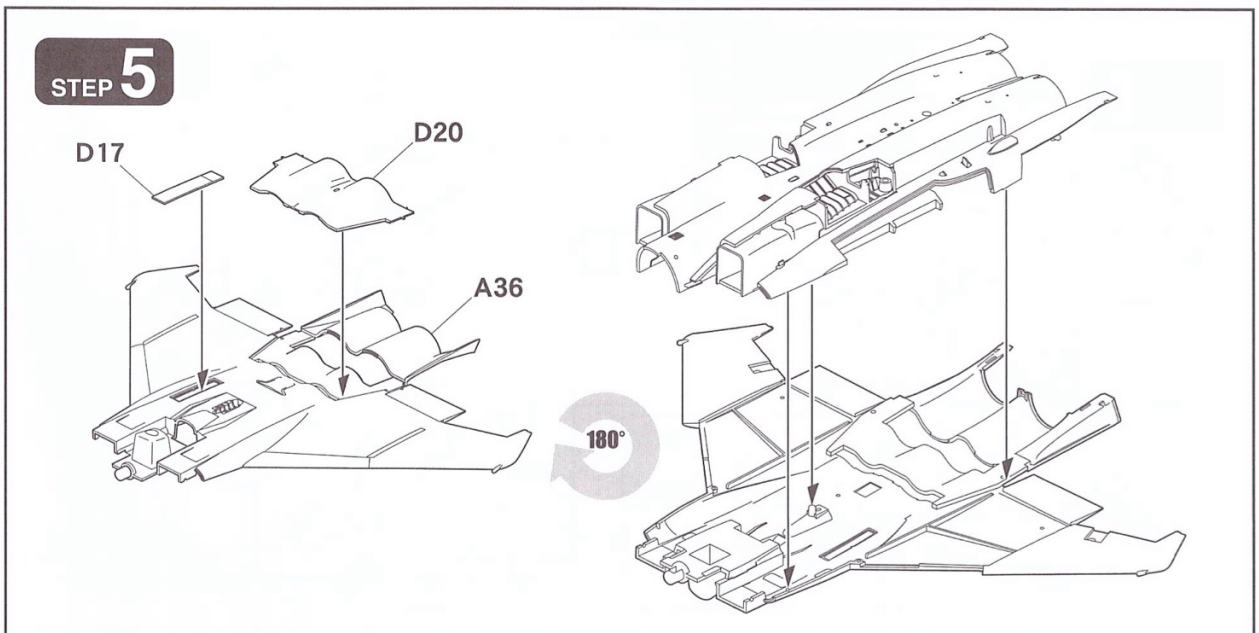
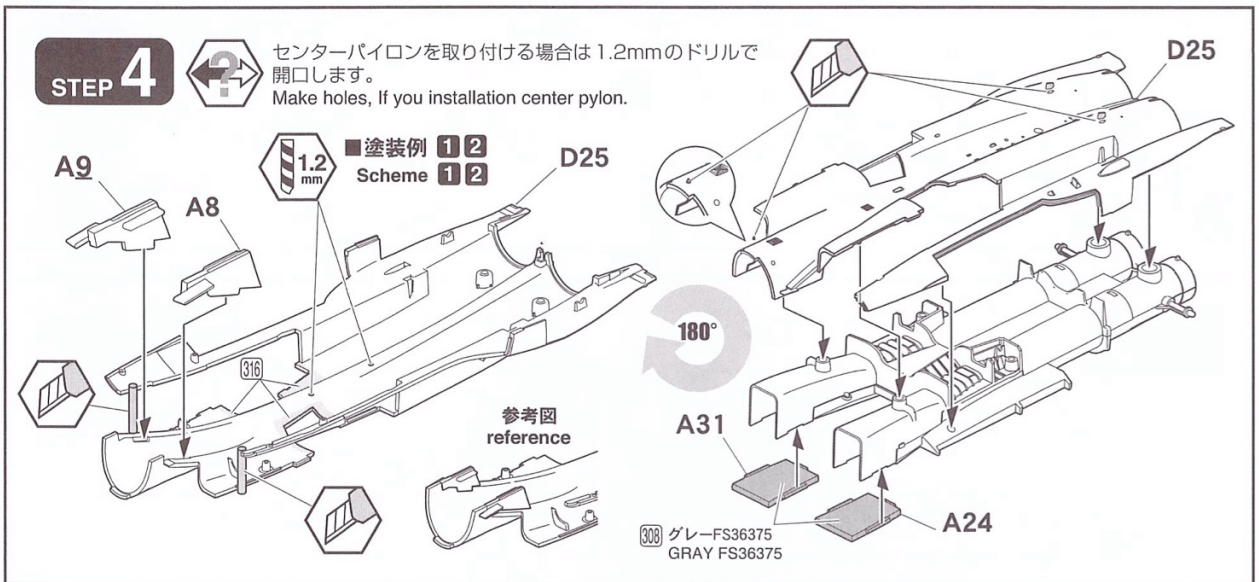
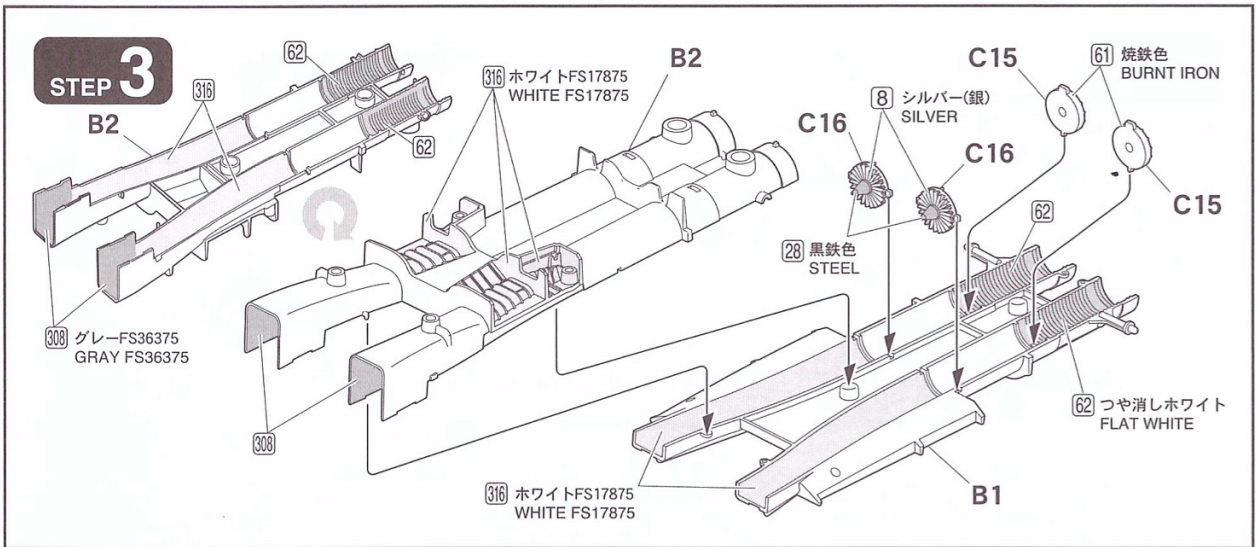
## ■注意

サーフェイサー/プライマーの使用はお控えください



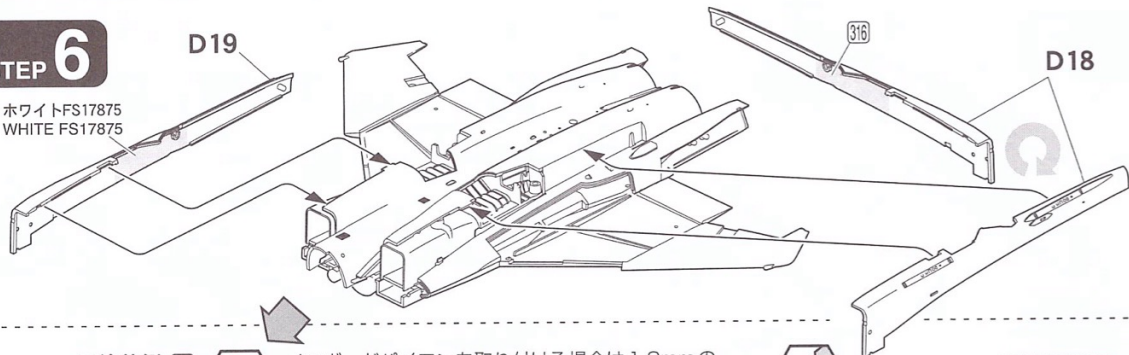
パネルライン、リベット等の繊細な彫刻がサーフェイサーにより埋める可能性があります。





# STEP 6

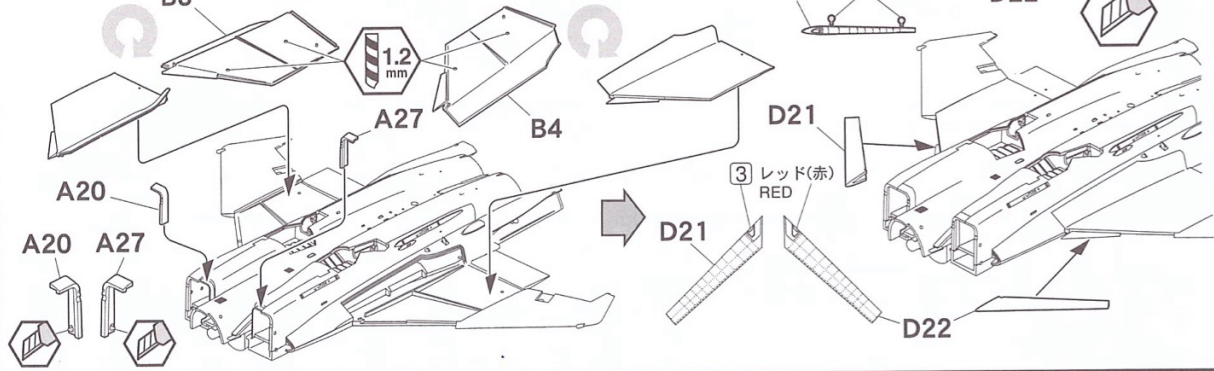
316 ホワイトFS17875  
WHITE FS17875



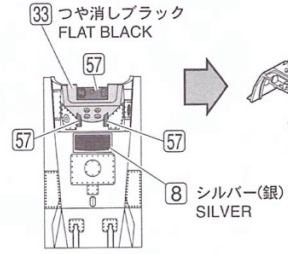
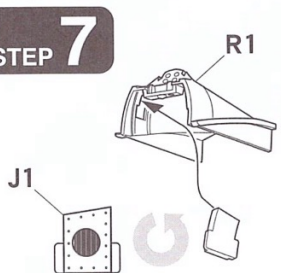
■塗装例 2  
Scheme 2  
B3



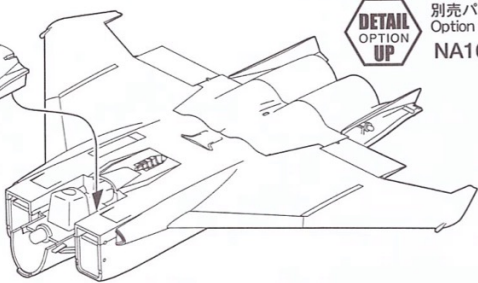
インボードパイロンを取り付ける場合は1.2mmのドリルで開口します。  
Make holes, if you installation wing pylons.



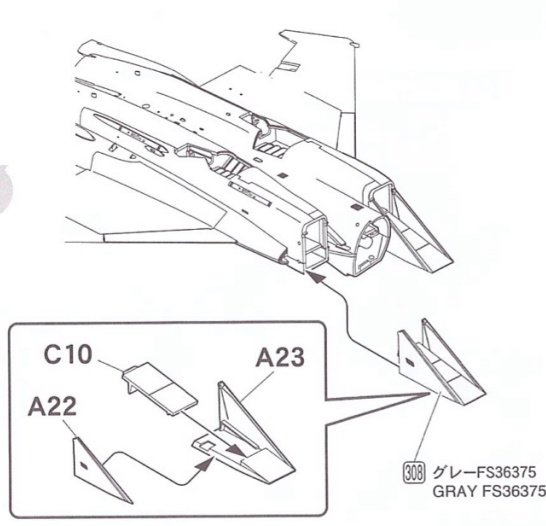
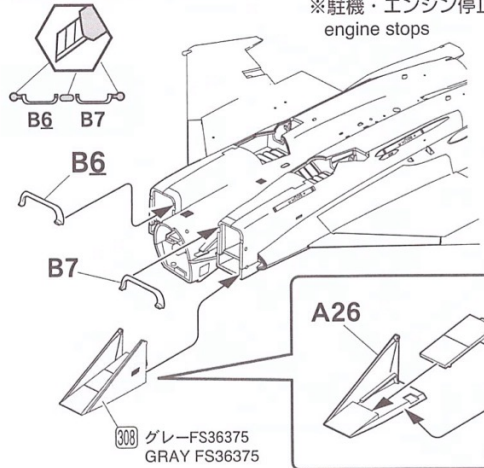
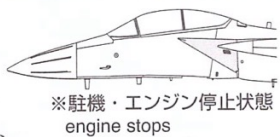
# STEP 7



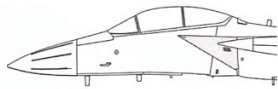
別売パーツ  
Option parts  
NA16



# STEP 8

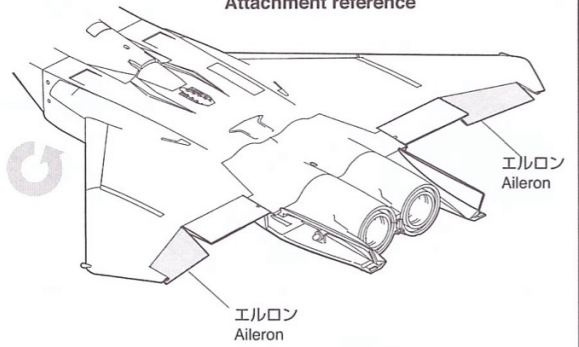
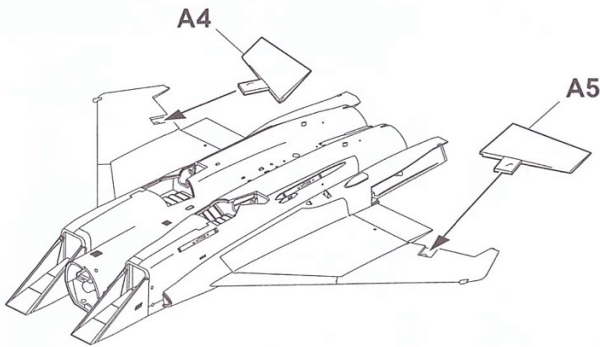


# STEP 9

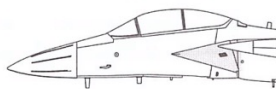


※駐機・エンジン停止状態  
engine stops

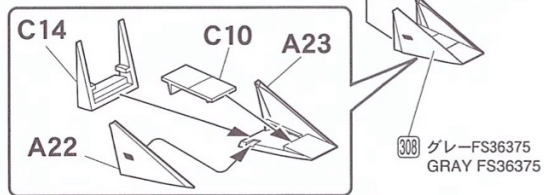
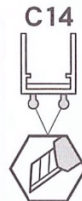
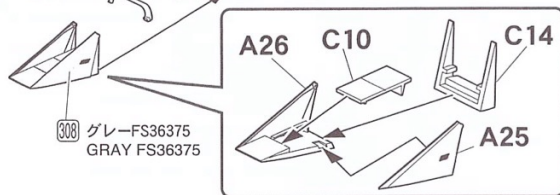
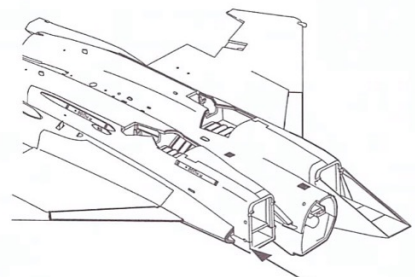
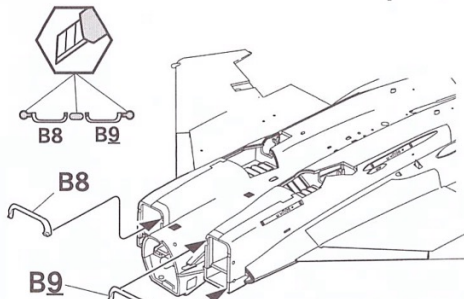
取り付け参考図  
Attachment reference



# STEP 10



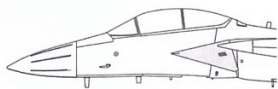
※駐機・エンジン可動状態  
engine running



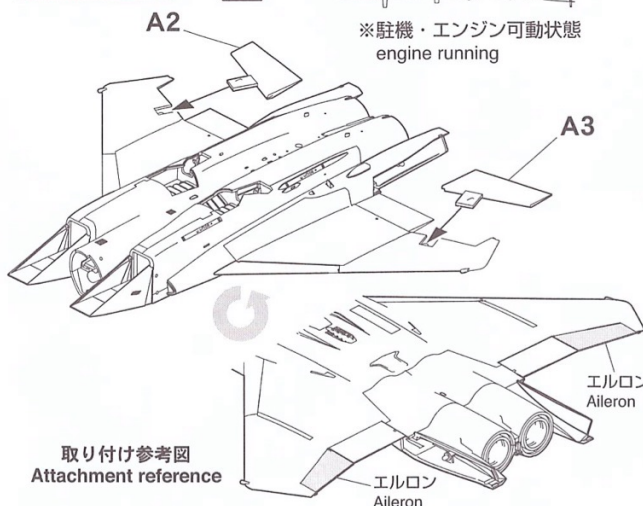
308 グレー-FS36375  
GRAY FS36375

308 グレー-FS36375  
GRAY FS36375

# STEP 11

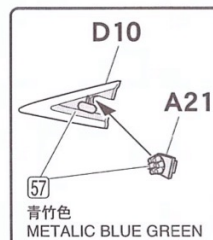
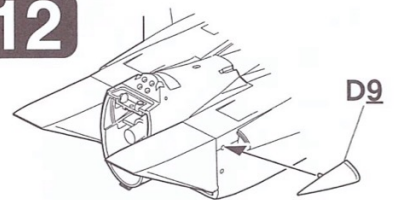


※駐機・エンジン可動状態  
engine running



取り付け参考図  
Attachment reference

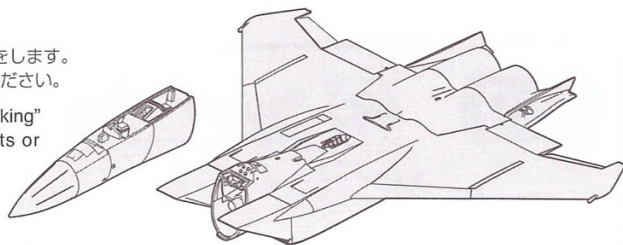
# STEP 12



57 青竹色  
METALIC BLUE GREEN

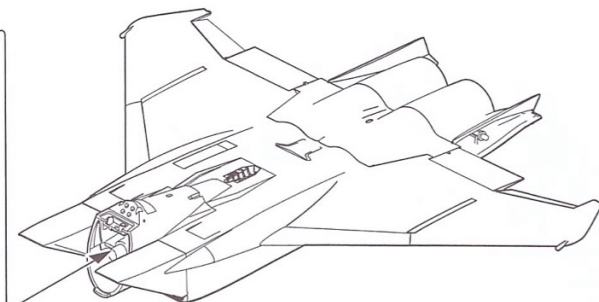
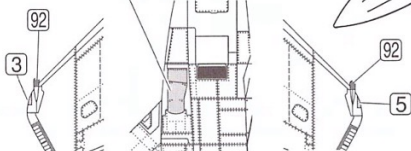
ここまで組み立てた段階で、巻末の「塗装とマーキング」を参考に機体全体を塗装をします。  
スプレー・エアブラシ等の吹き付け塗装の際は、塗装済み箇所をマスキングしてください。

At this point, you should paint the entire aircraft using the "Painting and marking" shown at the end of this instruction. If you are employing spray paints or airbrushes, then mask portions that have already been painted previously.



## STEP 14

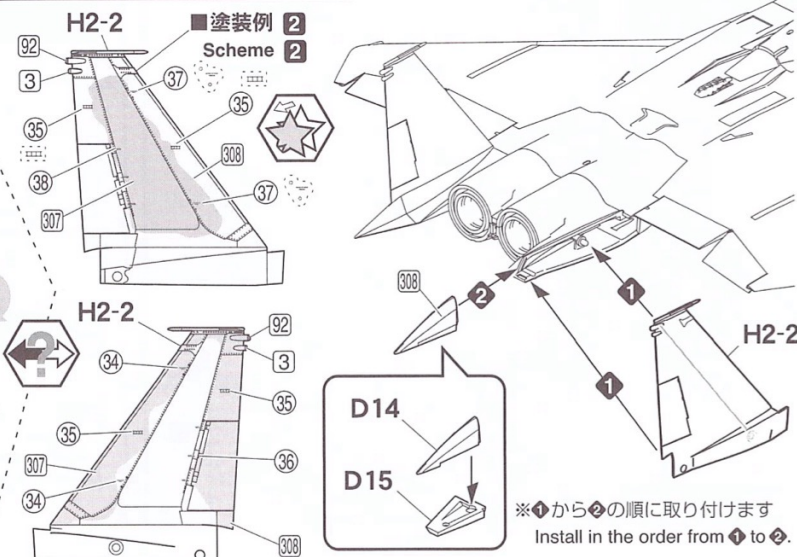
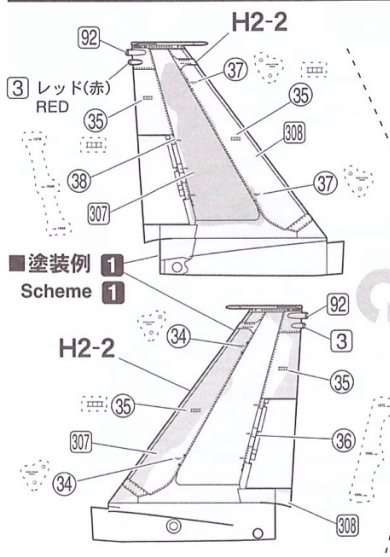
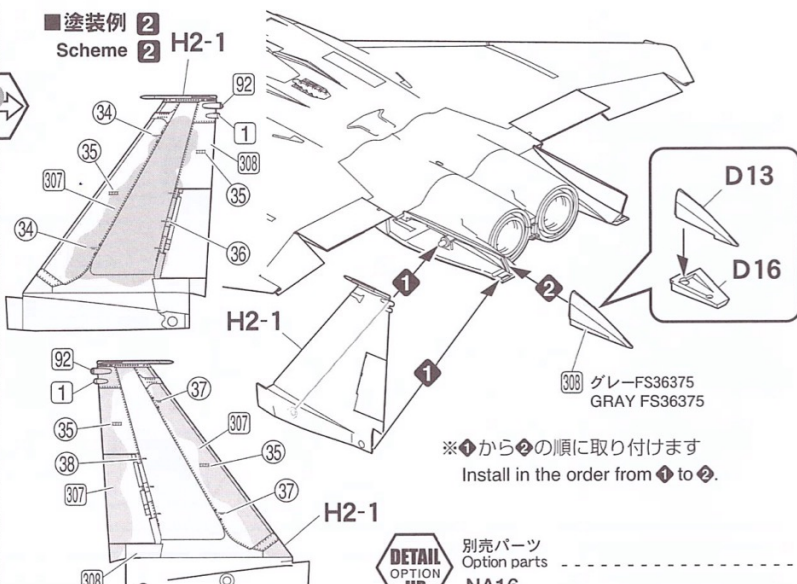
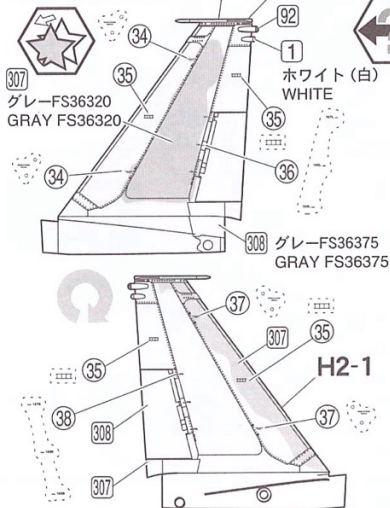
57 青竹色  
METALIC BLUE GREEN



## STEP 15

■ 塗装例 1  
Scheme 1

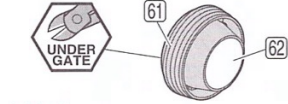
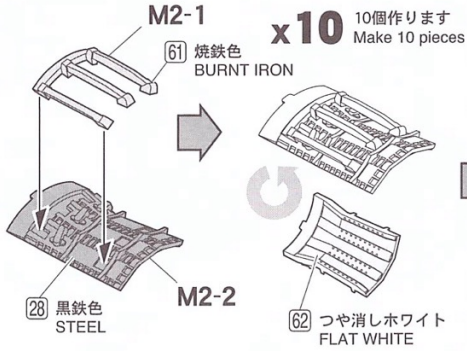
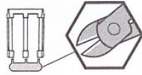
■ 塗装例 2  
Scheme 2



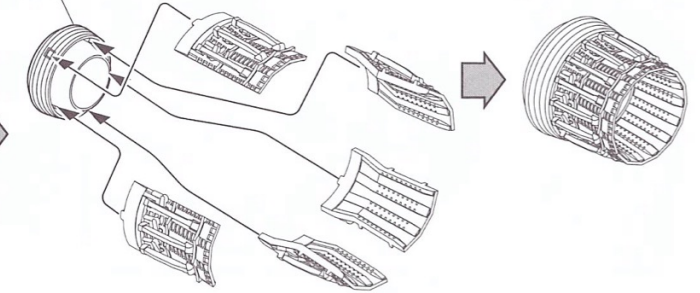


# STEP 16

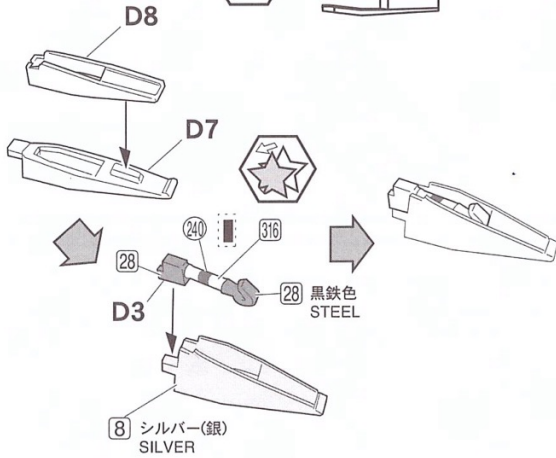
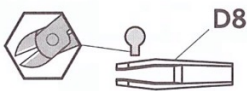
M2-1



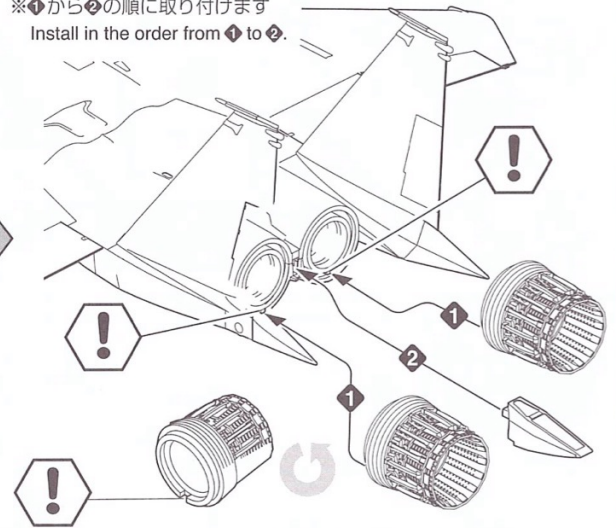
M2-3



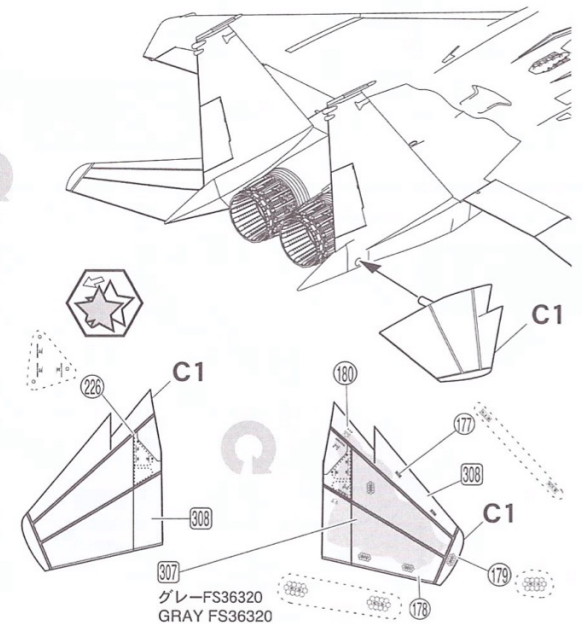
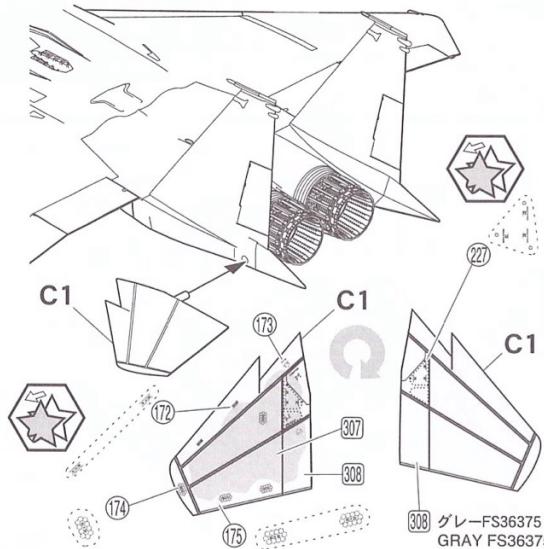
# STEP 17



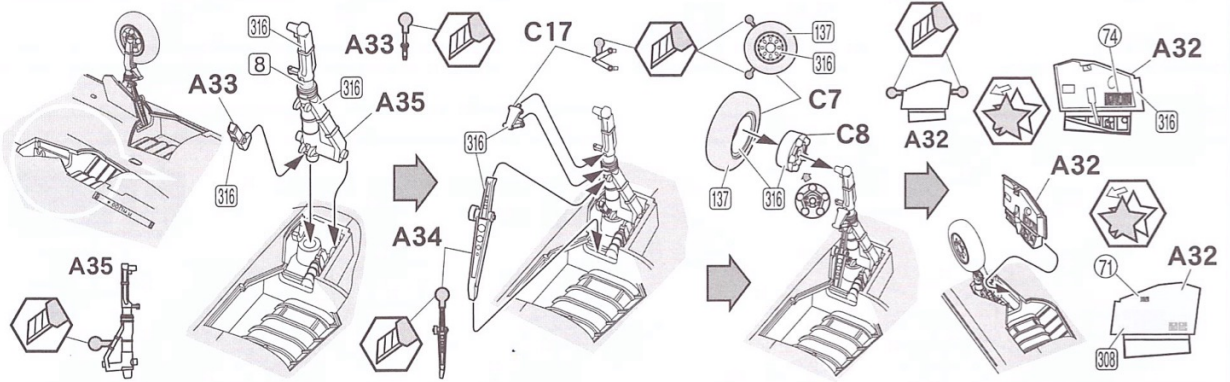
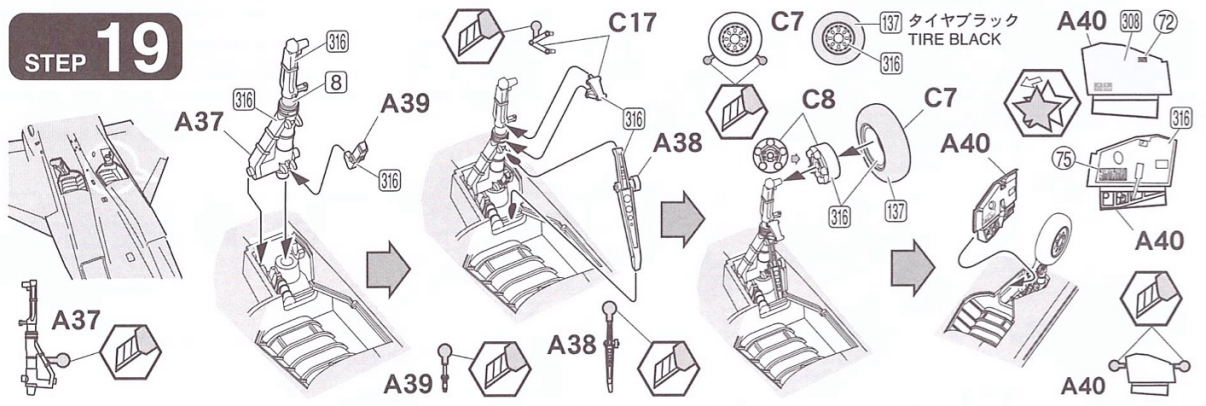
※❶から❷の順に取り付けます  
Install in the order from ❶ to ❷.



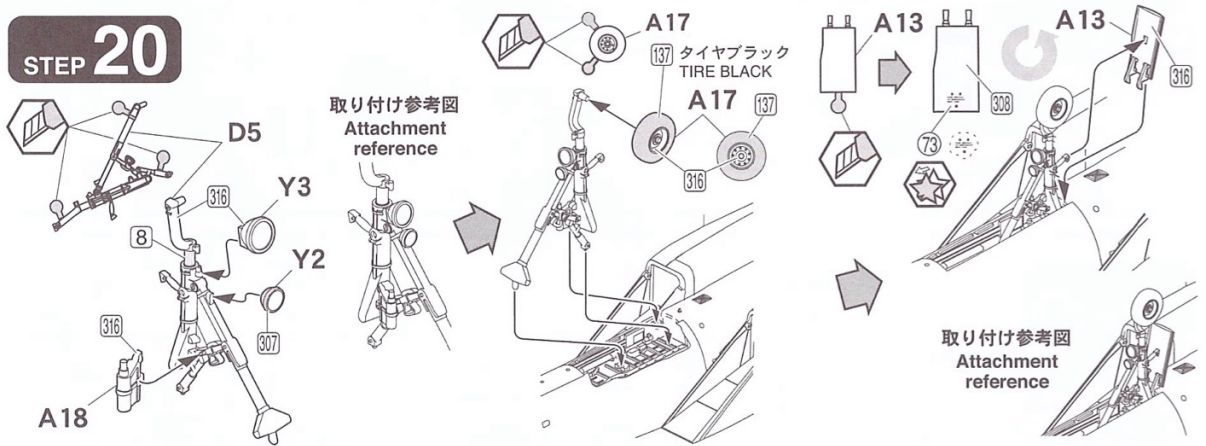
# STEP 18



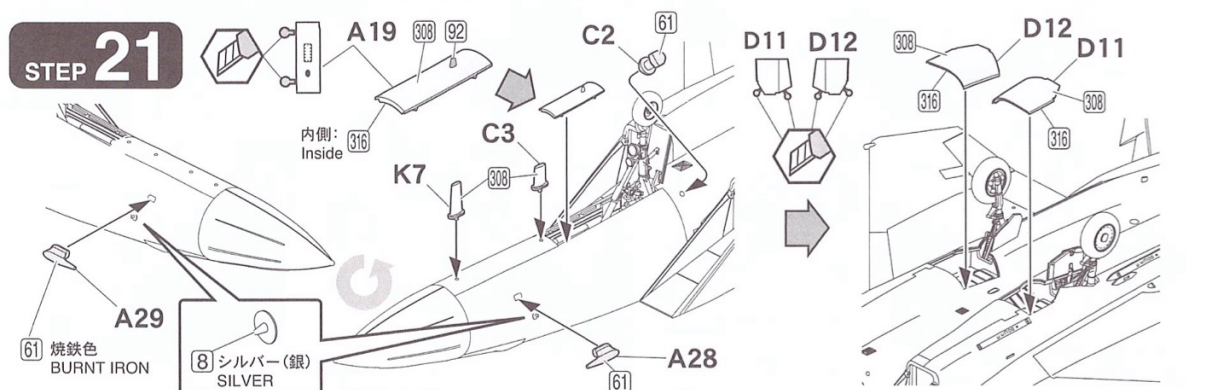
# STEP 19



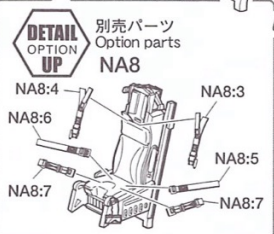
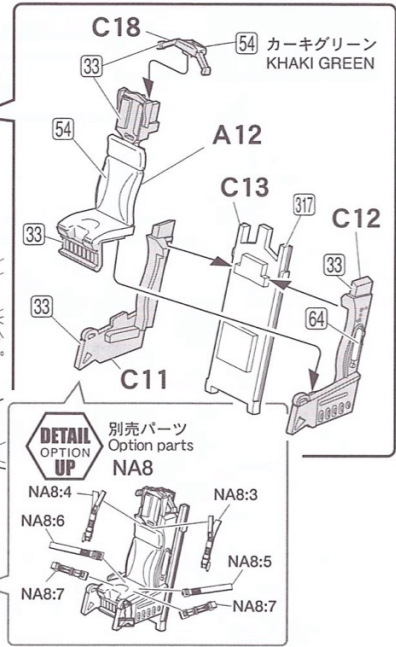
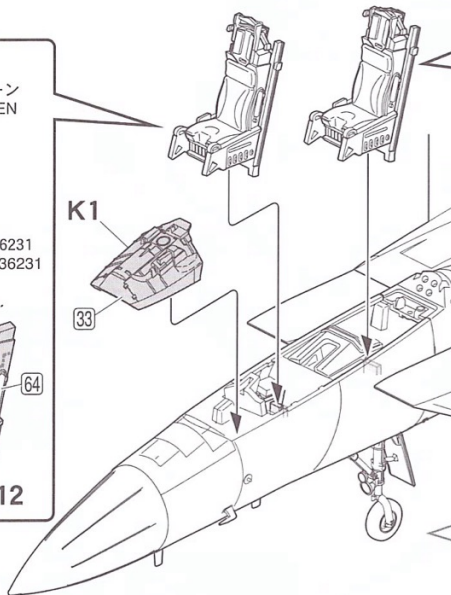
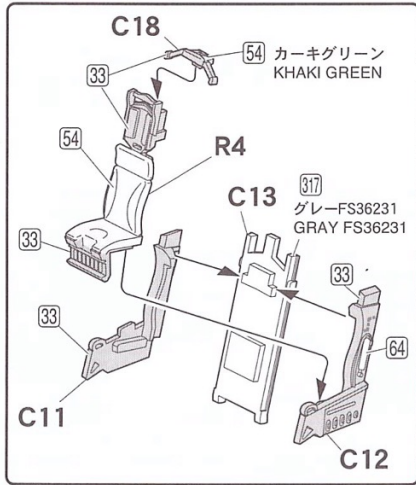
# STEP 20



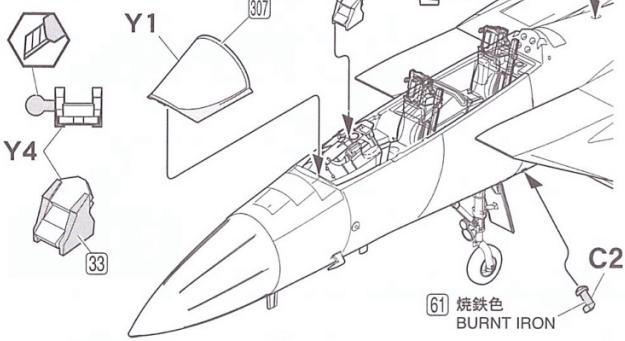
# STEP 21



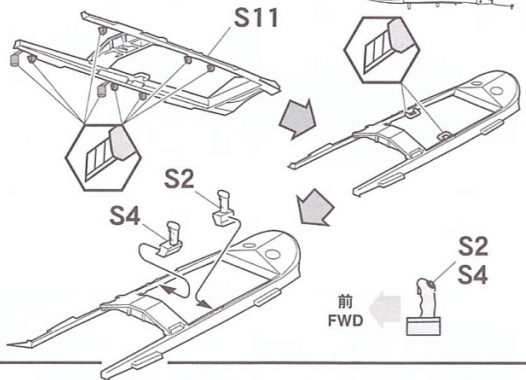
# STEP 22



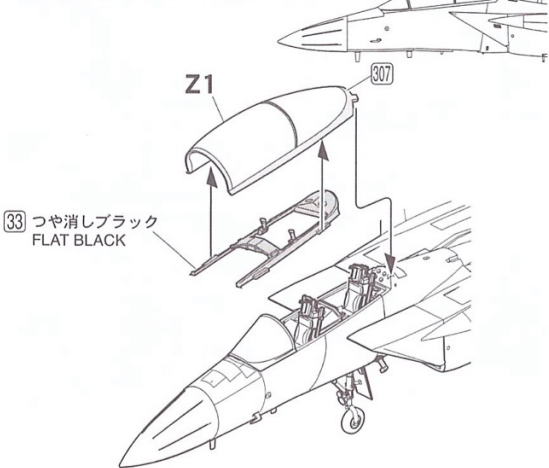
# STEP 23



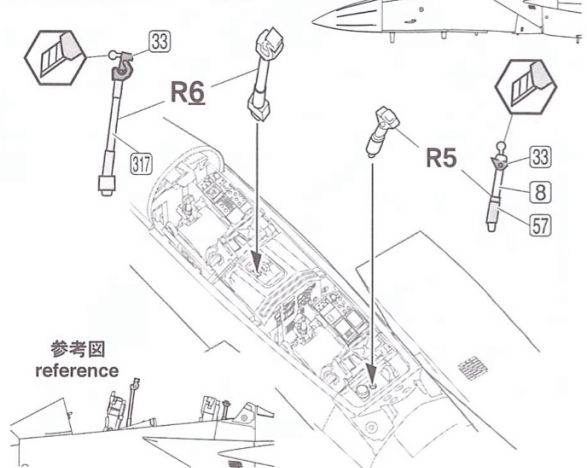
# STEP 24



# STEP 25



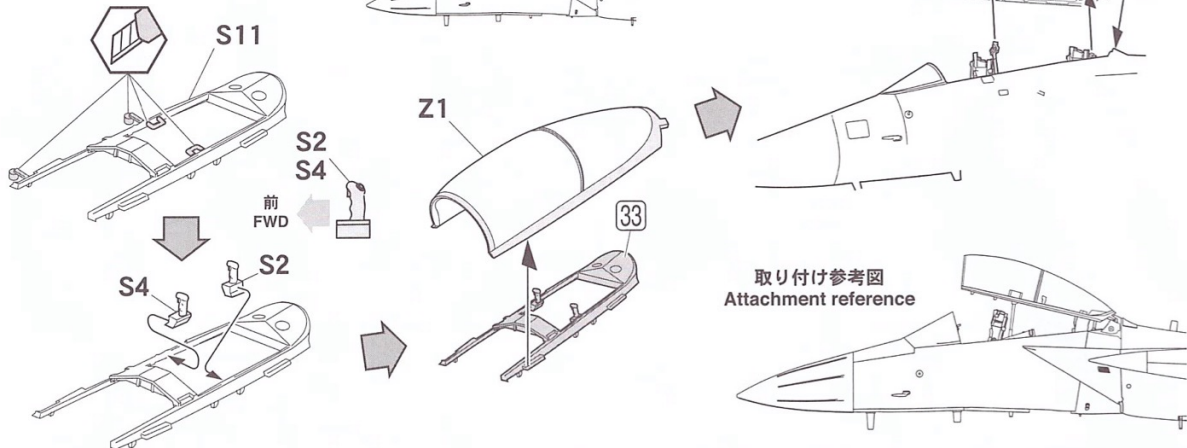
# STEP 26



# STEP 27

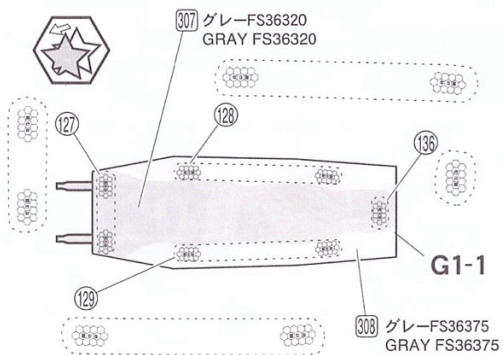


風防開状態  
Canopy open



次に進む前に、下図のとおりパーツG1-1の塗装を済ませ、デカールを貼ります。

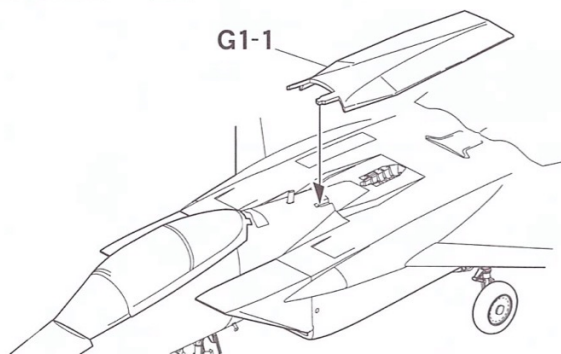
Paint part G1-1 and apply the decals before proceeding to the next step.



# STEP 28



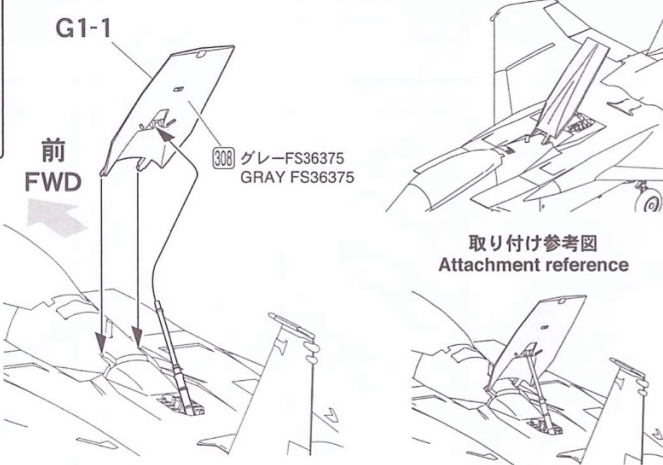
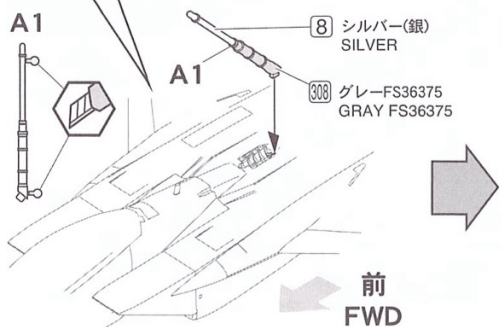
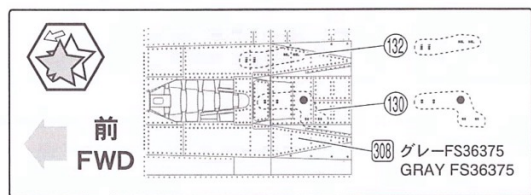
スピードブレーキ閉状態  
Speed brake closed



# STEP 29



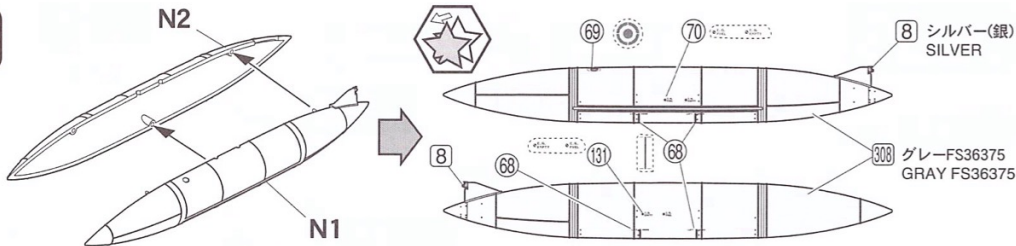
スピードブレーキ開状態  
Speed brake open



# STEP 30

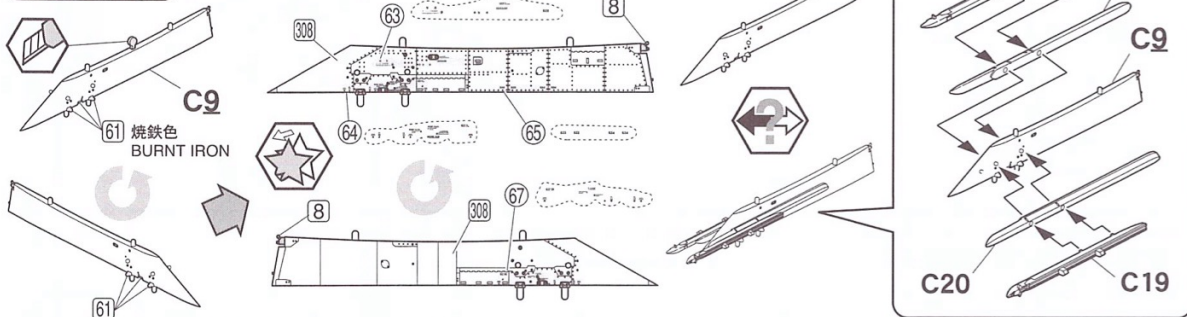
燃料タンク  
Fuel tank

**x3** 3個作ります  
Make 3 pieces

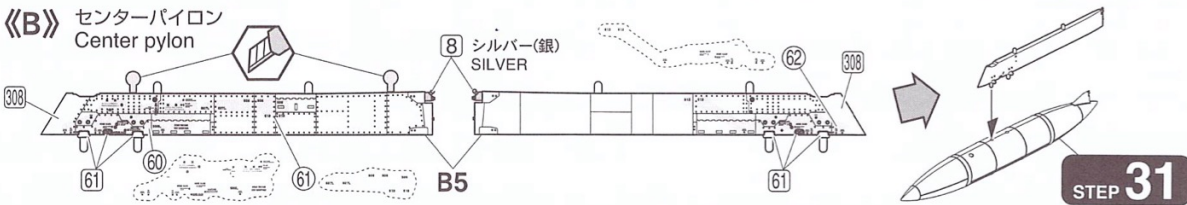


# STEP 31

《A》インボードパイロン  
Wing pylon **x2** 2個作ります  
Make 2 pieces



《B》センターパイロン  
Center pylon



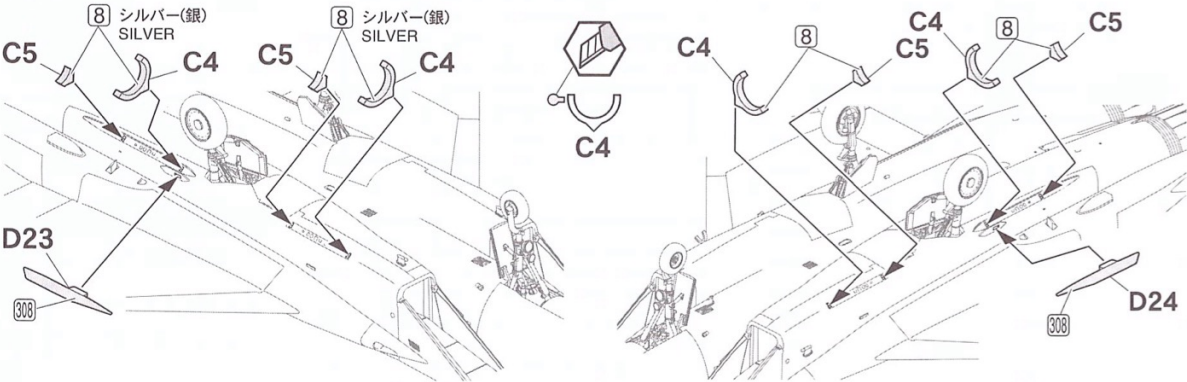
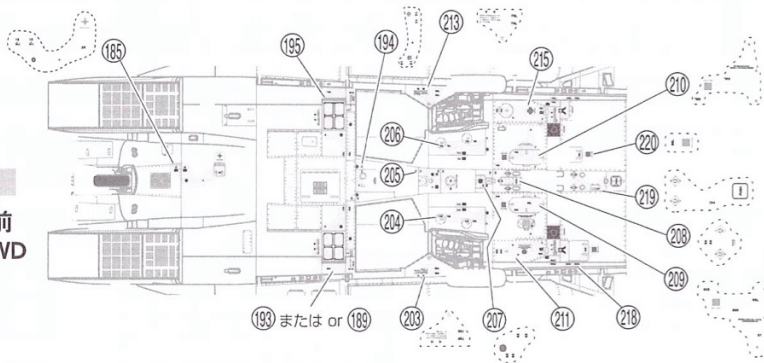
# STEP 31

# STEP 31



DETAIL  
OPTION  
UP

前  
FWD



# STEP 33

■ 塗装例 1  
Scheme 1

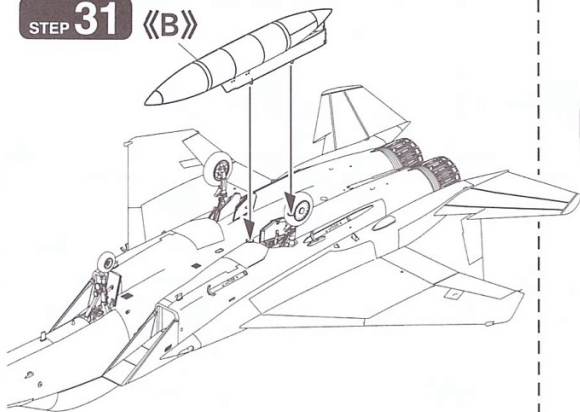


■ 塗装例 2  
Scheme 2

# STEP 31

# STEP 30

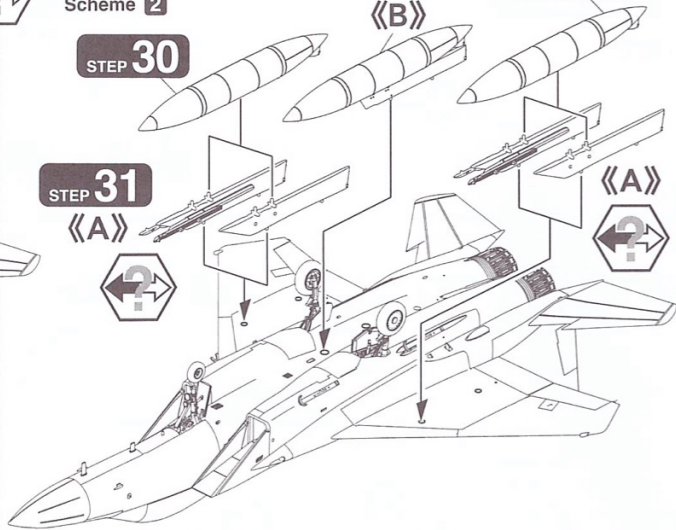
## STEP 31 《B》



## STEP 30

## STEP 31

## 《A》



### カラーナンバー対応表

※近似色での表示です

### Color Reference

GSIクレオス・Mrカラー (□数字)	GSIクレオス・水性カラー	GSIクレオス・アクリジョン	タミヤカラー(アクリル・エナメル)	タミヤカラー(ラッカー)	ガイアノーツ・ガイアカラー	English
1 ホワイト (白)	H1 ホワイト (白)	N1 ホワイト (白)	X2 ホワイト	LP2 ホワイト	001 ピュアホワイト	Gloss White
3 レッド (赤)	H3 レッド (赤)	N3 レッド (赤)	X7 レッド		003 ブライトレッド	Red
5 ブルー (青)	H5 ブルー (紺)	N5 ブルー (青)	X4 ブルー		004 ウルトラブルー	Blue
8 シルバー (銀)	H8 シルバー (銀)	N8 シルバー (銀)	X11 クロームシルバー	LP11 シルバー	009 ブライトシルバー	Silver
28 黒鉄色	H18 黒鉄色	N18 黒鉄色	X10 ガンメタル		020 ガンメタル	Gun Metal
33 つや消しブラック	H12 つや消しブラック	N12 つや消しブラック	XF1 フラットブラック	LP3 フラットブラック	012 フラットブラック	Matt Black
54 カーキグリーン	H80 カーキグリーン	N80 カーキグリーン	XF58 カーキグリーン			Khaki Green
57 青竹色	H63 青竹色	N63 青竹色	X13 メタリックブルー			Metallic Blue Green
61 焼鉄色	H76 焼鉄色	N76 焼鉄色	XF7+XF56			Burnt Iron
62 つや消しホワイト	H11 つや消しホワイト	N11 つや消しホワイト	XF2 フラットホワイト	LP4 フラットホワイト	011 フラットホワイト	Matt White
64 ルマンガグリーン(黄緑)	H16 イエローグリーン(黄緑)	N16 ルマンガグリーン(黄緑)				Yellow Green
92 セミグロスブラック			X18 セミグロスブラック	LP5 セミグロスブラック	022 セミグロスブラック	Semi Gloss Black
137 タイヤブラック	H77 タイヤブラック	N77 タイヤブラック	XF85 ラバーブラック	LP65 ラバーブラック	075 ニュートラルグレー-V	Tire Black
307 グレーFS36320						
308 グレーFS36375						
316 ホワイトFS17875					071 ニュートラルグレー-I	FS17875
317 グレーFS36231			XF54 ダークシーグレイ			FS36231
324 ライトグレー			XF19 スカイグレイ		072 ニュートラルグレー-II	Light Gray
327 レッドFS11136			X7 レッド		003 ブライトレッド	FS11136

### ■ 部品を破損・紛失された際は

紛失・破損などにより部品を請求される方はランナー(枠)単位で有償にてお分けいたします。まずは下記の部品構成表を参考に、在庫と価格を右下記載のメールまたはお電話にてお問い合わせください。その際に部品在庫と価格、必要に応じて「郵便振替」「銀行振込」の口座名と番号も説明いたします。いずれのパーツも本構成表1枚につき1キット分に限らせていただきます。製品はプラスチック部品の色や仕様、価格を予告無く変更することがございます。

#### FineMolds ◆ 部品構成表 2023年12月現在

##### FP52 航空自衛隊 F-15DJ 戦闘機

A	¥1200	M2(1枚)	¥750
B	¥1000	N(1枚)	¥500
C (1枚)	¥750	R	¥750
D	¥1000	S	¥500
F2	¥500	Y	¥500
G1	¥500	Z	¥750
H2	¥500	デカール	¥750
J	¥500	説明書	¥500
K	¥500		

Use Only in Japan

### ■ ご注文とお支払い方法

左記部品構成表の各代金は送料と消費税込みの価格です。

#### ●「定額為替」「現金書留」「銀行振込」にてご送金の場合

メールまたはお電話にて在庫と価格をご確認後、左下欄の部品構成表(コピー可)の必要ランナー名を○で囲み、お名前・ご住所・電話番号を書き添えたメモを同封いただき、定額為替、現金書留の場合は共に郵送してください。郵便振替または銀行振込にてお支払いの場合は、部品構成表とお振込(予定)日・お振込人名を別途郵送ください。郵便振替の場合は払込用紙の通信欄に「製品番号、品名、ランナー名(部品種)、数量」をご記入ください。ご入金を確認でき次第発送いたします。為替手数料あるいは振込手数料、送料はお客様に御負担ください。切手での送金はお受けできません。ご了承ください。

#### ●代金引換(到着時にお支払い)にてご注文の場合

部品構成表記載のパーツ代金を別途代引き手数料を加算した金額がお支払いの総額です。メールまたはお電話にて在庫と価格をご確認時に、手数料をお伝えします。ご希望の製品番号と製品名・部品番号、お届け先・電話番号をファックスでお知らせください。ご注文時にいただいたお客様の個人情報は当該商品の発送および発送記録確認以外の目的には用いない事をお約束いたします。

### ■ 製品に関するお問い合わせは



有限会社ファインモールド

〒441-3301

愛知県豊橋市老津町市場53-2

TEL:0532-23-6810 FAX:0532-23-6811

※お電話でのお問い合わせ対応時間:  
土・日・祝、夏期および年末年始の休業日を除く  
午前9時30分～午後5時30分

#### インターネットホームページ

<https://www.finemolds.co.jp>

#### Eメールアドレス:

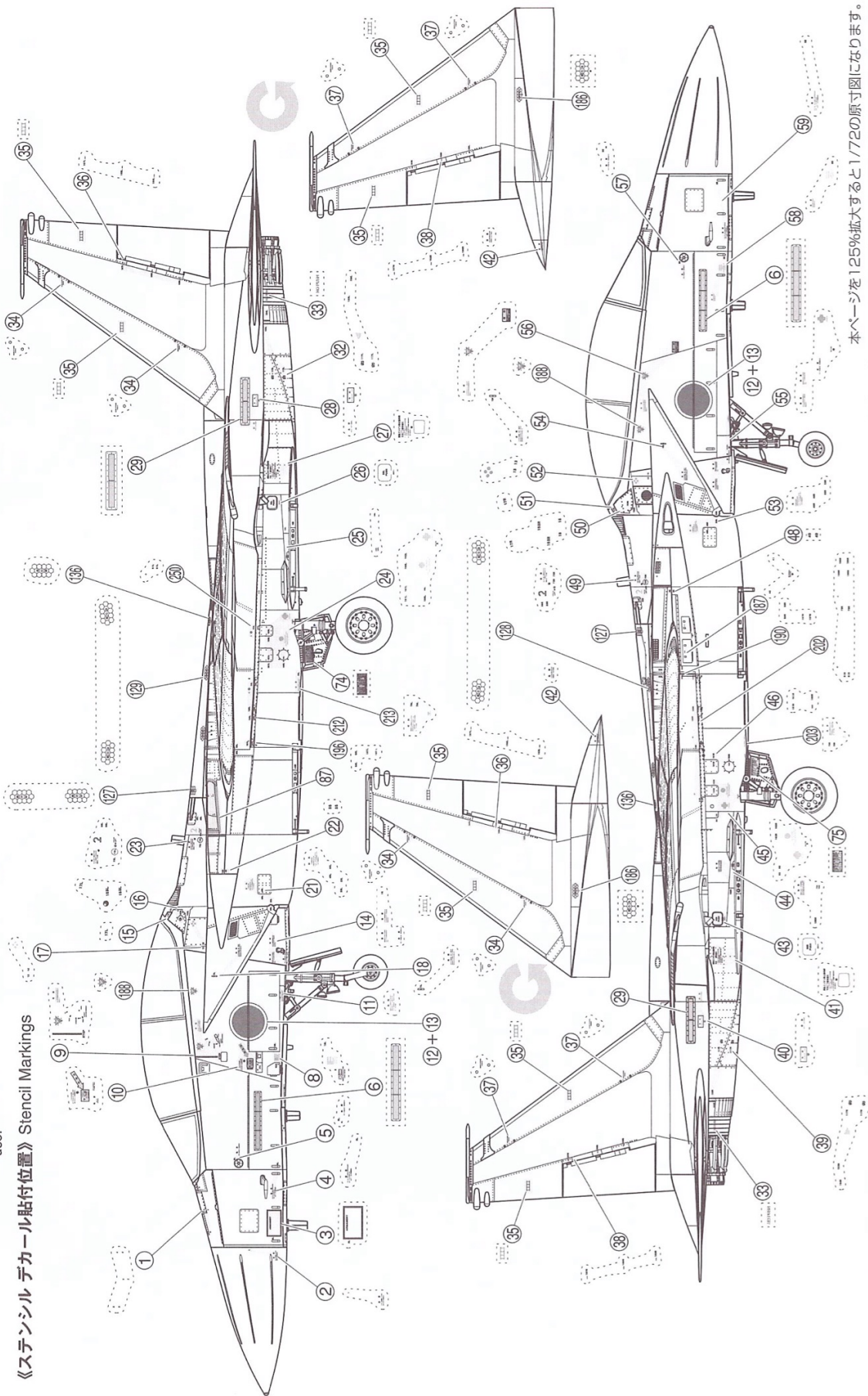
[otemami@finemolds.co.jp](mailto:otemami@finemolds.co.jp)

# 塗装とマーキング

## Painting & Marking

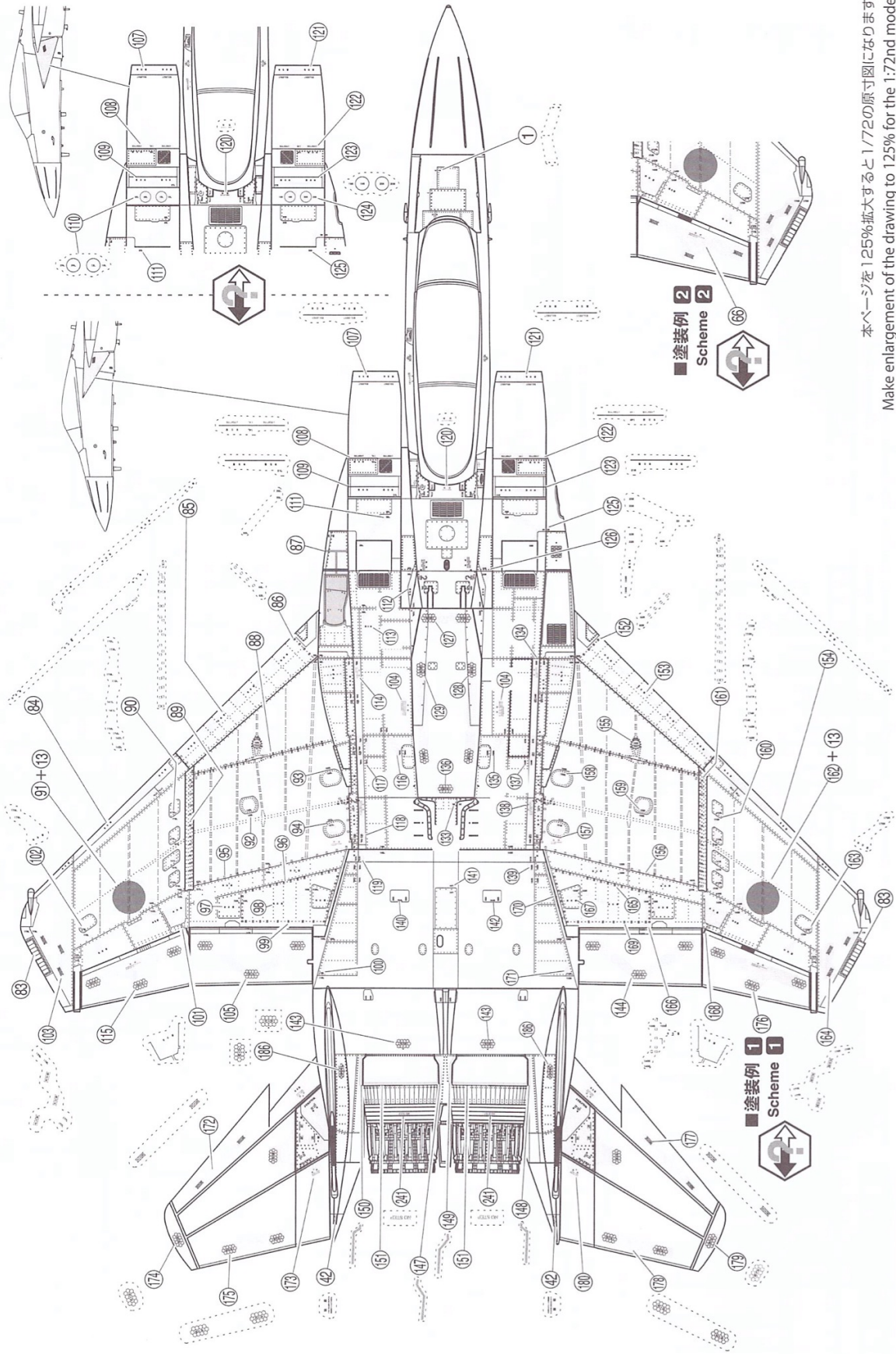
塗装色はGSIクレオスMr.カラーの色番号を□内の数字で、続けて色名を指示しています。○で囲まれた数字は付属デカール(水転写シール)の番号です。  
水性ホビーカラーや新水性カラー・アクリリジョン、タミヤカラー、ガイアカラーをご使用の場合はP14のカラーナンバー-対応表を参考にしてください。  
※細部の塗装は組立図中の説明を参考に、また個別のマーキングはP18かP20の各塗装例もご参考ください。表記の無いデカールは使用しません。  
Boxed numbers refer to GSI Creos "Mr. Color" paint color numbers. Circled numbers refer to decal numbers. Decals not shown its number are not for use.

### 《ステンシル デカール貼付位置》 Stencil Markings



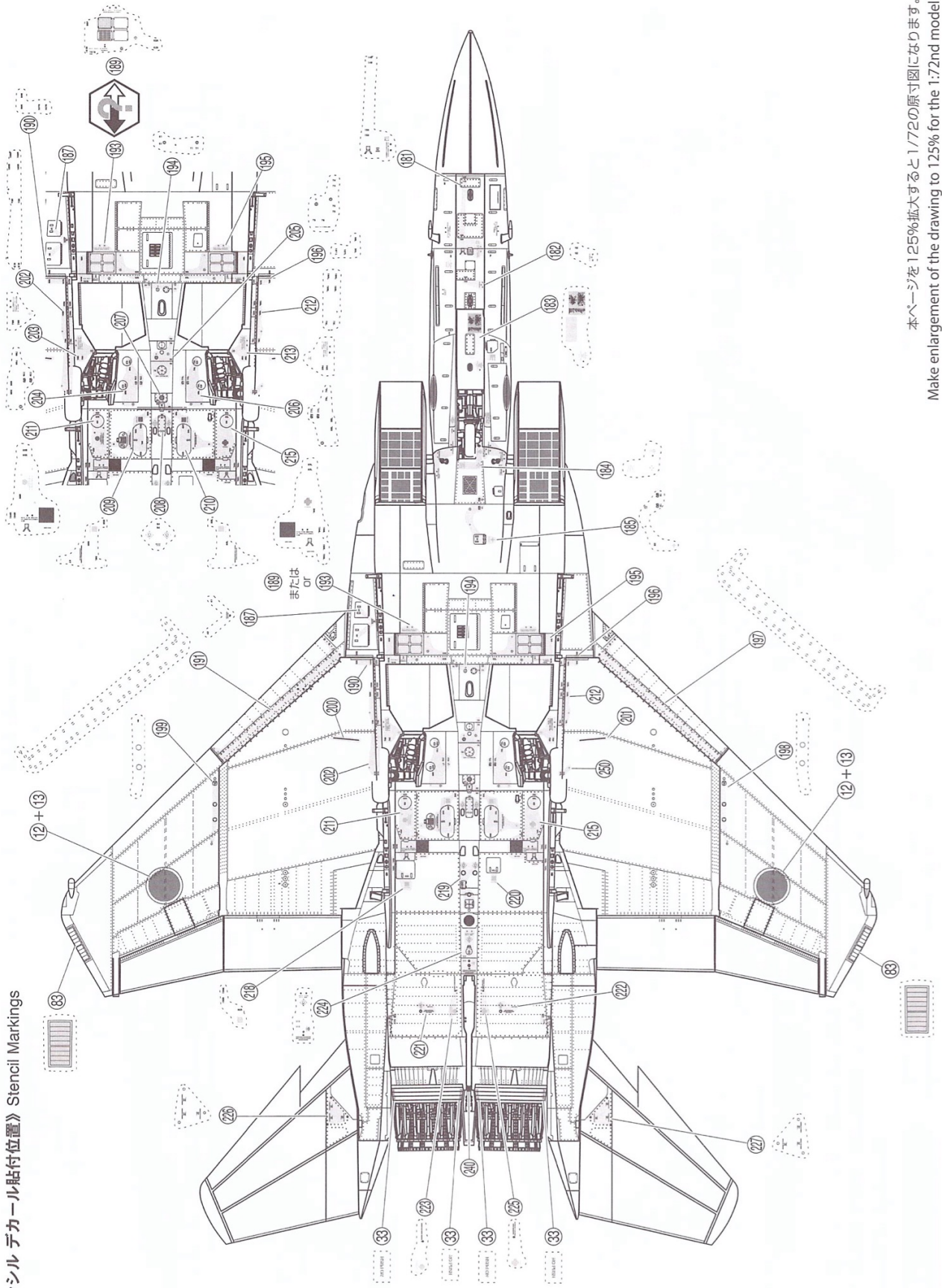
本ページを125%拡大すると1/72の原寸図になります。  
Make enlargement of the drawing to 125% for the 1:72nd model.

《ステンシル デカール貼付位置》 Stencil Markings



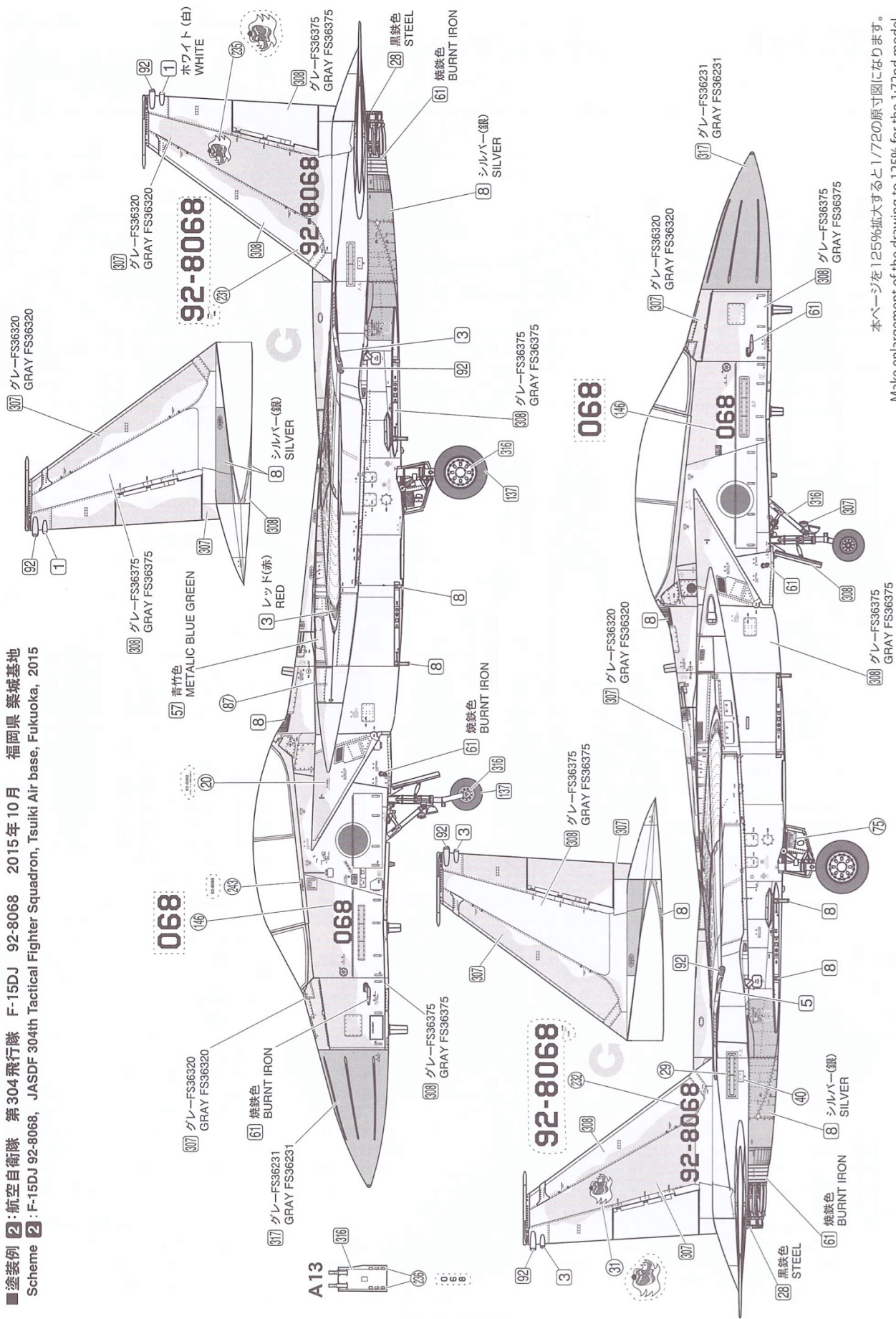


《ステンシル デカール貼付位置》 Stencil Markings

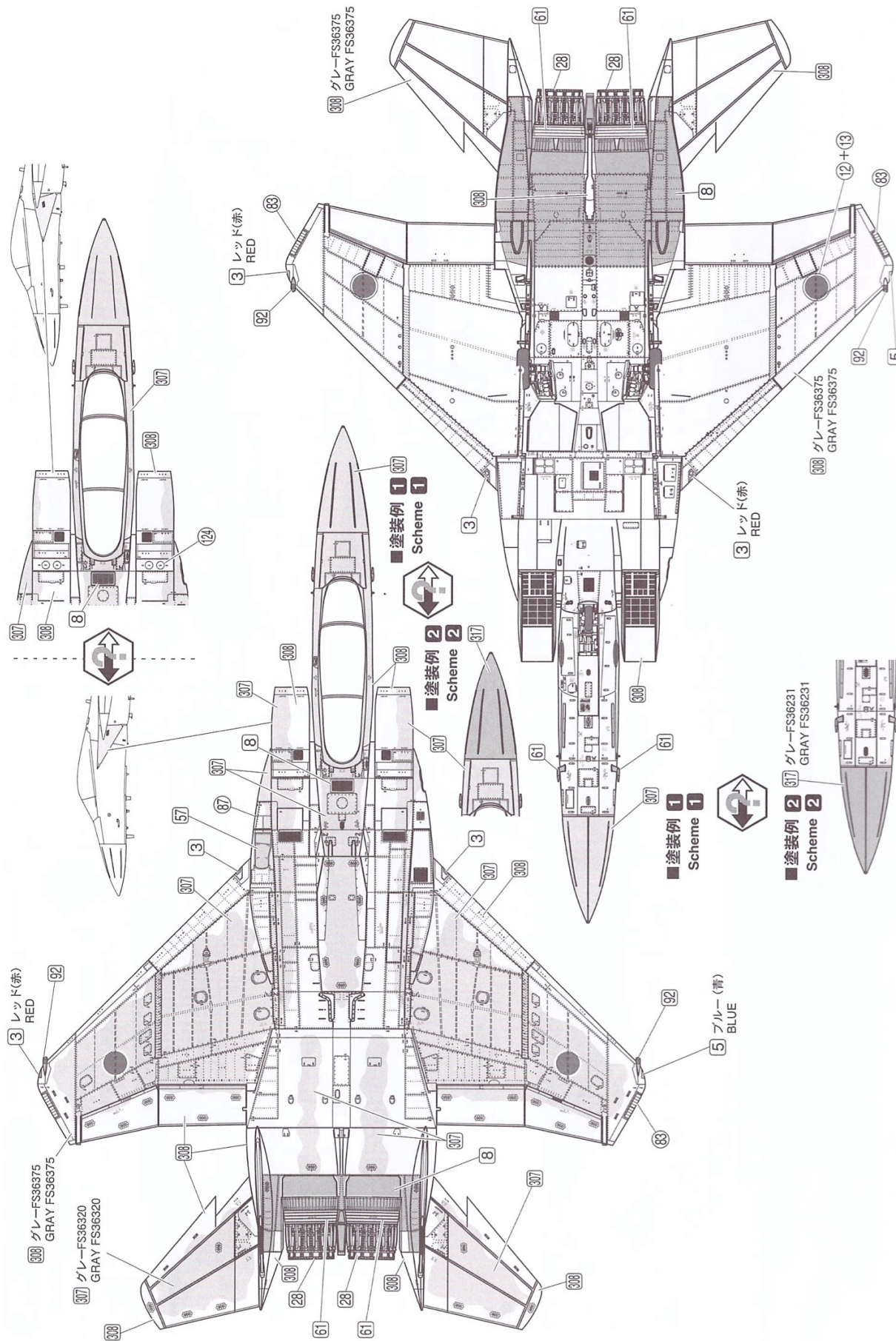




■ 塗装例 2: 航空自衛隊 第304飛行隊 F-15DJ 92-8068 2015年10月 福岡県 築城基地  
 Scheme 2: F-15DJ 92-8068, JASDF 304th Tactical Fighter Squadron, Tsuiki Air base, Fukuoka, 2015



本ページを125%拡大すると1/72の原寸図になります。  
 Make enlargement of the drawing to 125% for the 1:72nd model.



本ページを167%拡大すると1/72の原寸図になります。  
 Make enlargement of the drawing to 167% for the 1/72nd model.